

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和2年3月30日

計画の名称	11 安心・安全な松山駅周辺まちづくり(防災・安全)									
計画の期間	平成28年度～平成29年度(2年間)			交付対象	松山市					
計画の目標	愛媛県が施行するJR松山駅付近連続立体交差事業に合わせて、松山駅周辺土地区画整理事業を行い、JR松山駅周辺地区における狭あい道路の解消、歩行空間のバリアフリー化を図り、地区の防災上の課題の解消、歩行者・自転車・自動車それぞれの安全性を高め、安全で安心な歩いて暮らせるまちづくりを進める。東口駅前広場の拡張再整備による路面電車の引込み、及び西口駅前広場の新設整備により公共交通の利便性を向上させるなど、広域交通結節機能の強化を図り、その拠点機能を生かしたまちづくりを進め、駅周辺地区全体を県都の陸の玄関口にふさわしい、優れた都市環境を有する地区として整備を図る。									
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・解消された狭あい道路延長 ・駅前広場のアクセス道路のうち、歩道の整備がされているもの 									
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値		備考		
						当初現況値 (H28当初)	中間目標値	最終目標値 (H29末)		
	・事業で解消された狭あい道路延長により、地区の防災性の向上度を示す(解消された狭あい道路延長・m)					130m		394m		
	・駅前広場のアクセス道路のうち、歩道の整備された道路延長を示し、バリアフリー化の進捗を示す。(歩道の整備された道路延長)					0m		14m		
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,147百万円	A	1,147百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0%

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	令和元年度
事業策定主体にて評価を実施。	公表の方法
	市ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A1 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H28	H29	H30	H31	H32		
A1-1	街路	一般	松山市	直接	松山市	区画	改築	松山駅周辺地区(都三番町線外)	地中化・区画整理 A=16.7ha	松山市						1,147	
合計													1,147				
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H28	H29	H30	H31	H32			
																0	
合計													0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
C 効果促進事業(該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H28	H29	H30	H31	H32			
															0		
合計													0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・狭隘道路の解消や歩道整備を行うことで安全で安心な歩いて暮らせるまちづくりを進めた。		
II 定量的指標の達成状況	指標①(解消された狭あい道路延長)	最終目標値	394m	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	394m	
	指標②(歩道の整備された道路延長)	最終目標値	14m	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	14m	
3. 特記事項(今後の方針等)				
・未完了の路線について引き続き整備を実施し、安全で安心な歩いて暮らせるまちづくりを進める。				

